

Z世代の価値観に関する アンケート調査結果

北九州市役所 Z世代課

調査期間: 2025年9月1日～9月25日
調査方法: WEBによるアンケート

アンケート概要

Z世代の価値観 に関する調査

調査期間: 2025年9月1日 ~ 9月25日

調査方法: WEBアンケート

調査対象: 福岡県内・社会人のZ世代（18歳~29歳）

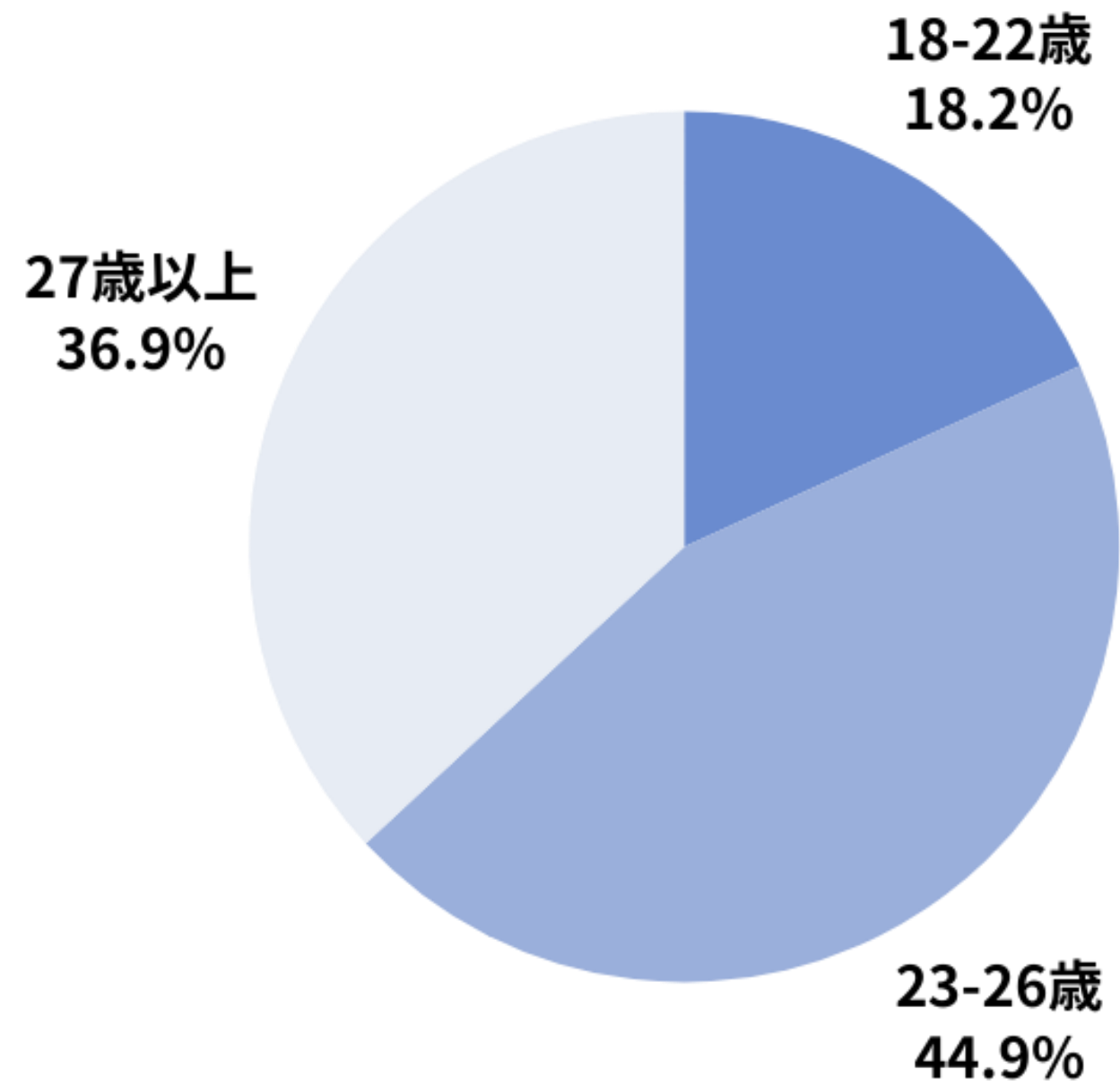
調査人数: 528人

目的: Z世代の価値観や行動傾向を把握する

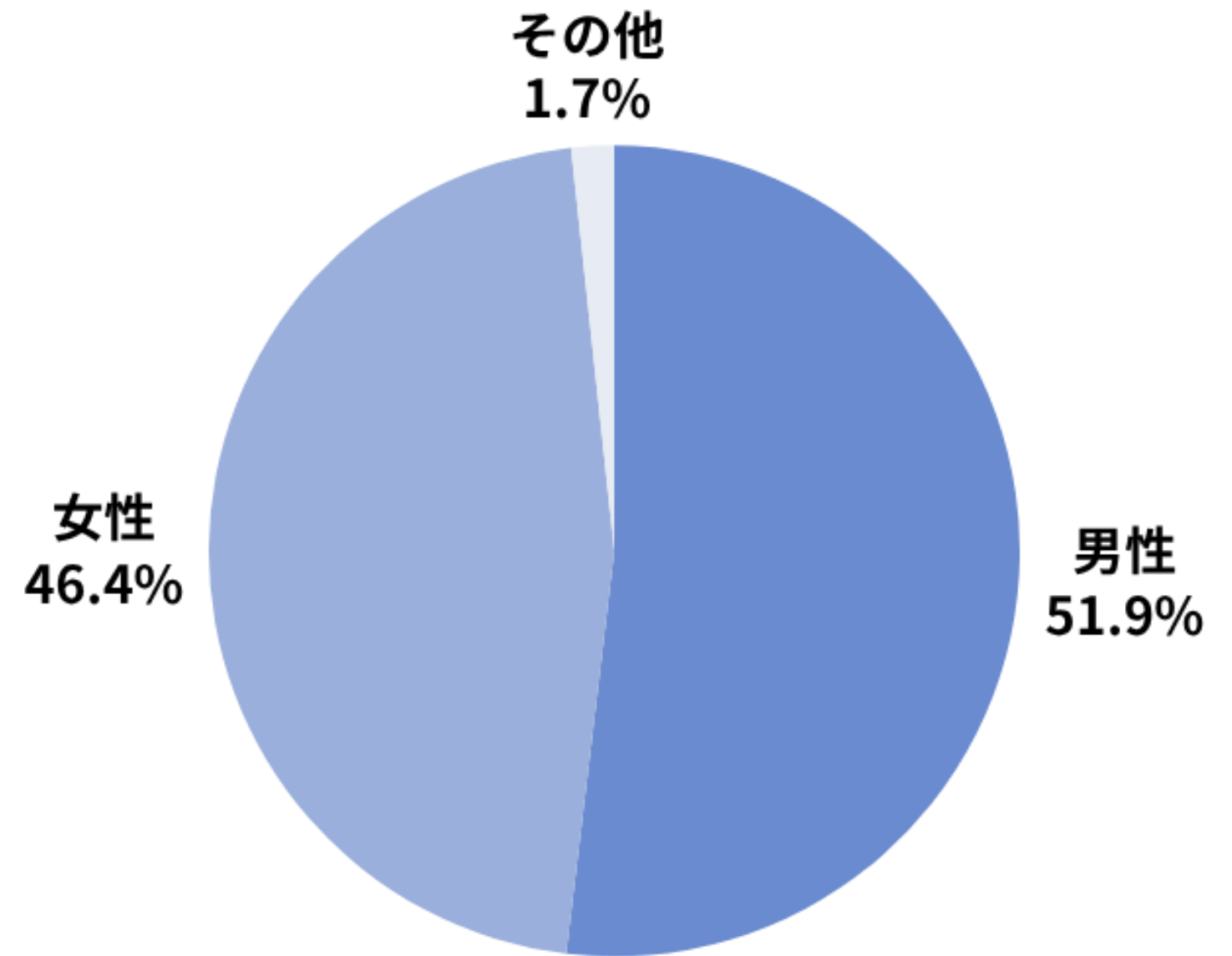
**Z世代の価値観や行動傾向を学び、
時代の変化にスピーディーに対応し、持続可能な北九州市を目指す**

属性 (年齢 / 性別)

(年齢)



(性別)

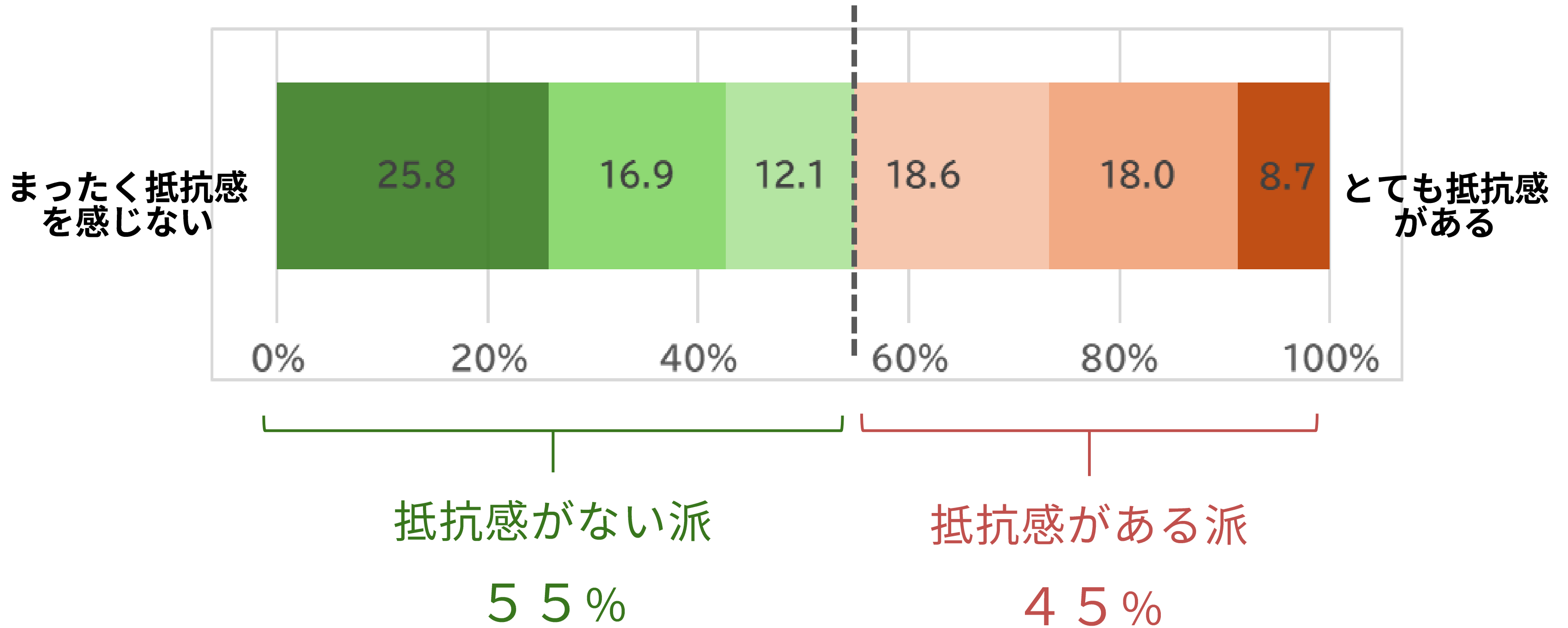


質問一覧（抜粋）

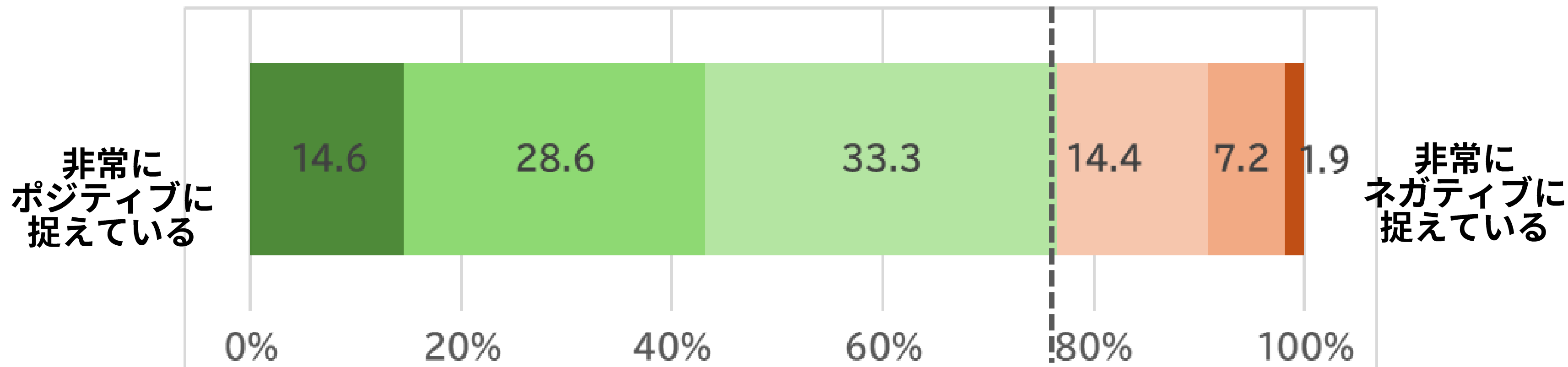
1. 属性 (年齢/ 性別)
2. Z世代と一括りにされること
3. SNSとの付き合い方
4. 自分らしさについて
5. 仕事や上司について
6. 日本の将来について



Z世代と一括りにされること



SNSはどのような存在か



約8割がSNSをポジティブに捉えている

SNSはどのような存在か 理由（コメント抜粋）

ネガティブ
意見

他人のキラキラした面ばかり見え、
自分はこんなもんかと落ち込む。

SNSの普及により、新たな発見や感動の共有等が
今まで以上にできるようになったと感じる一方で、
生きづらいような、嫌な世の中になったと思っ
てしまうこともある。

正確な情報が手に入らない場合があり、
真偽を確かめることにストレスを感じる。

情報収集には役立つが、SNSに費やしてしまう
時間が多く、時間を溶かしているような感
覚になるときもある。誰かと連絡をいつ
でもとれる状況がしんどくなる
ときも多い。

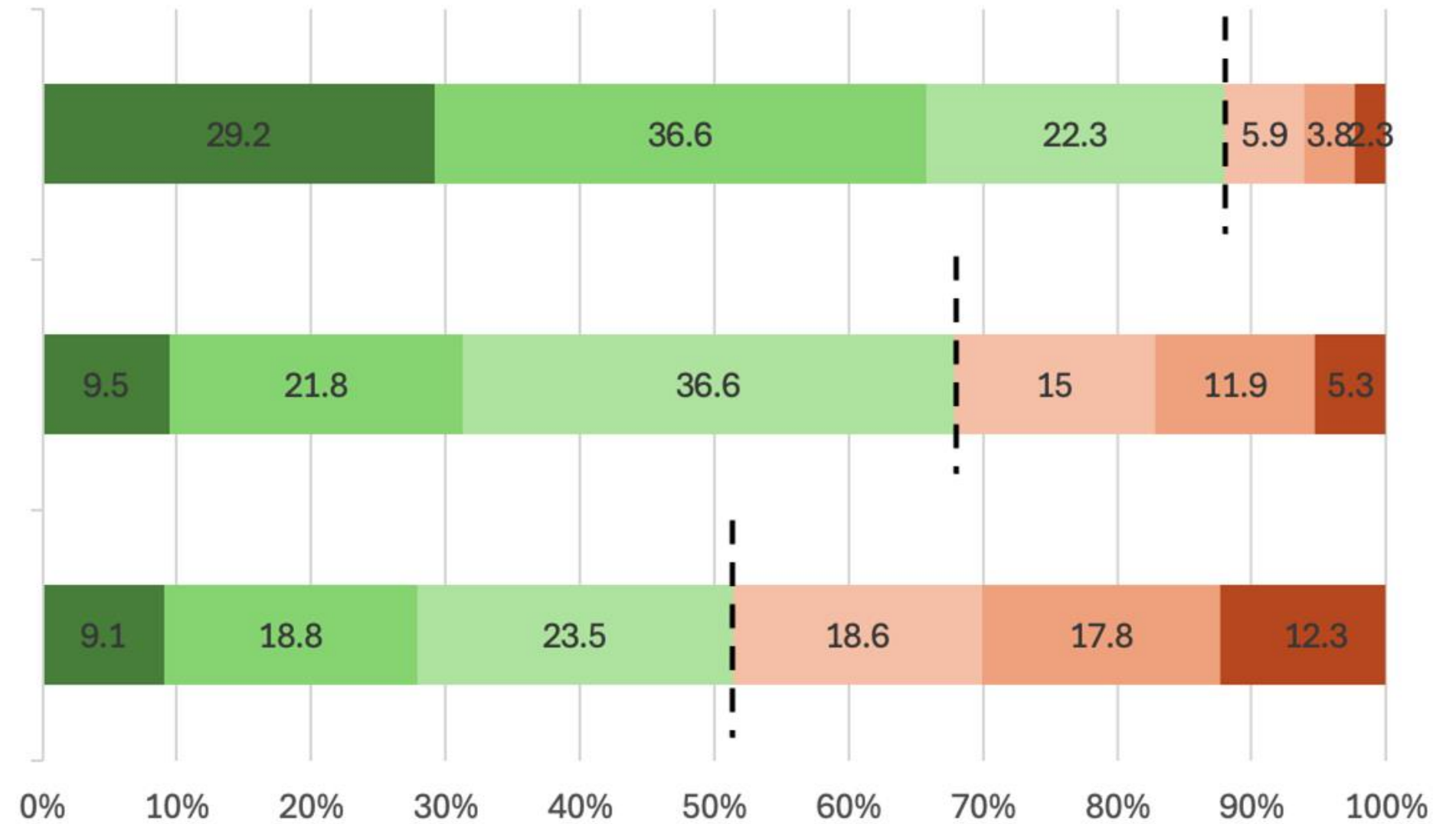
ポジティブな回答が多い中で、SNS疲れを感じさせるコメントも多数

SNS利用による変化

多様な価値観と触れることが当たり前になった

自分の価値観に影響を与えている

常に誰かと繋がっているように感じる

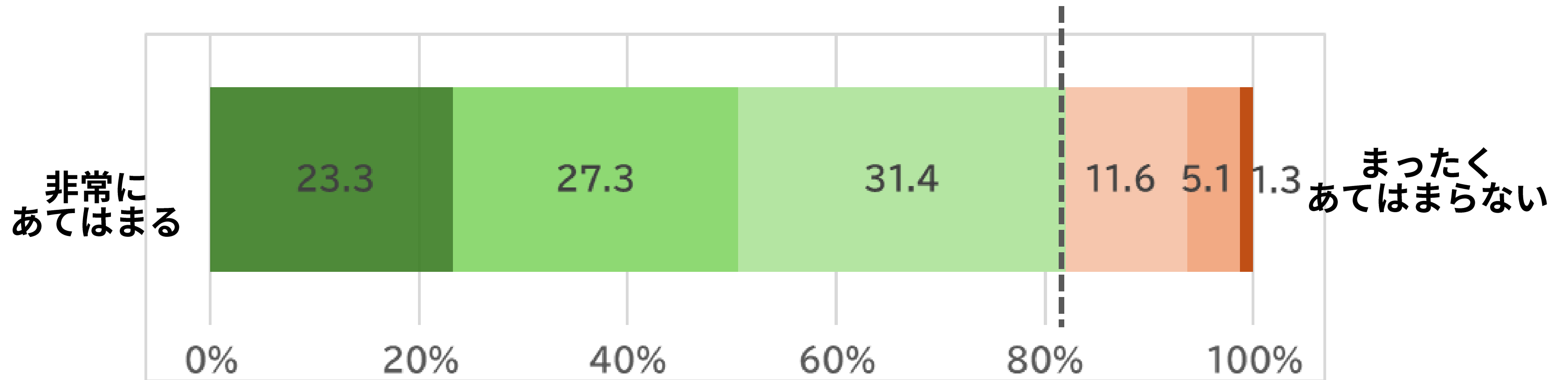


非常に
あてはまる

まったく
あてはまらない

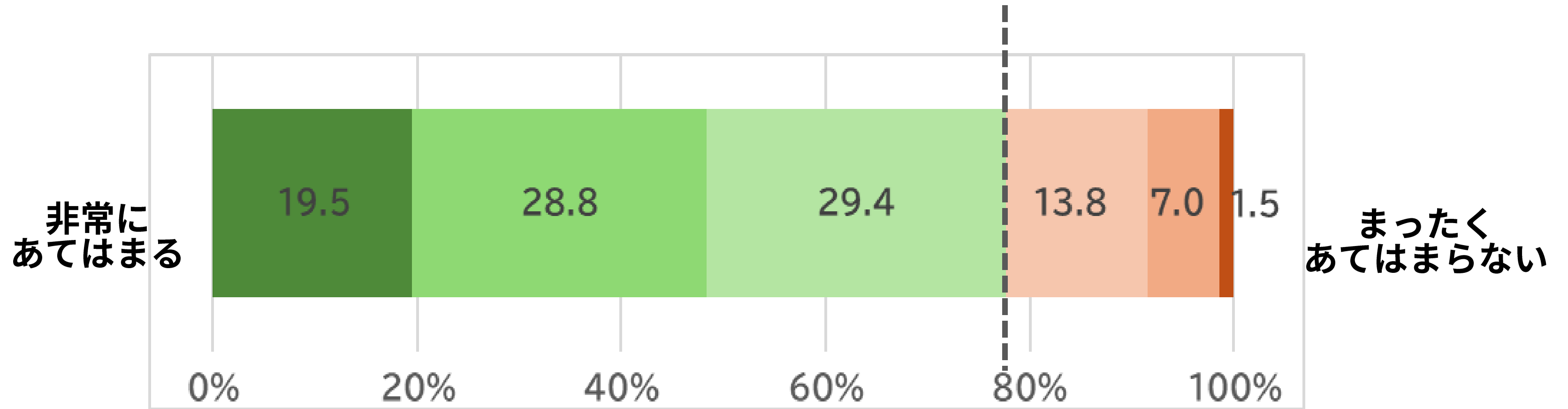
約9割が多様な価値観を受け入れ、自身の価値観に影響を及ぼしている

「自分らしさ」を大切にしているか



8割を超える人が「自分らしさ」を大切にしている

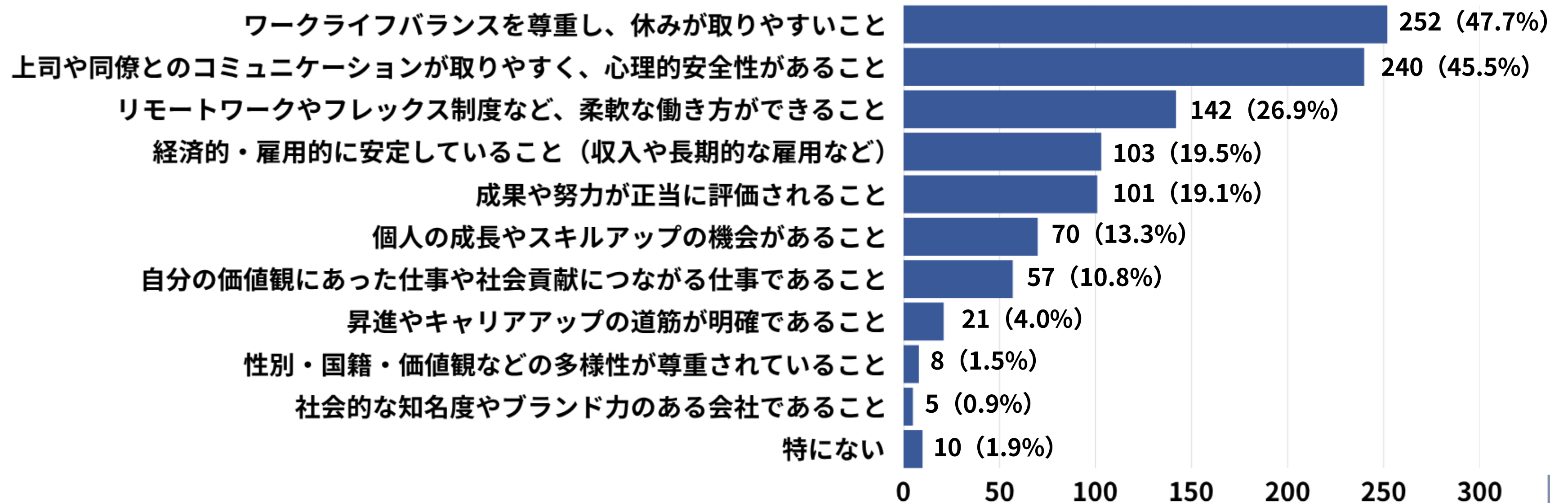
「自分らしく」過ごしているか



約8割の人が「自分らしく」過ごしている

今の職場やこれからの働き方で勤務先に求めること

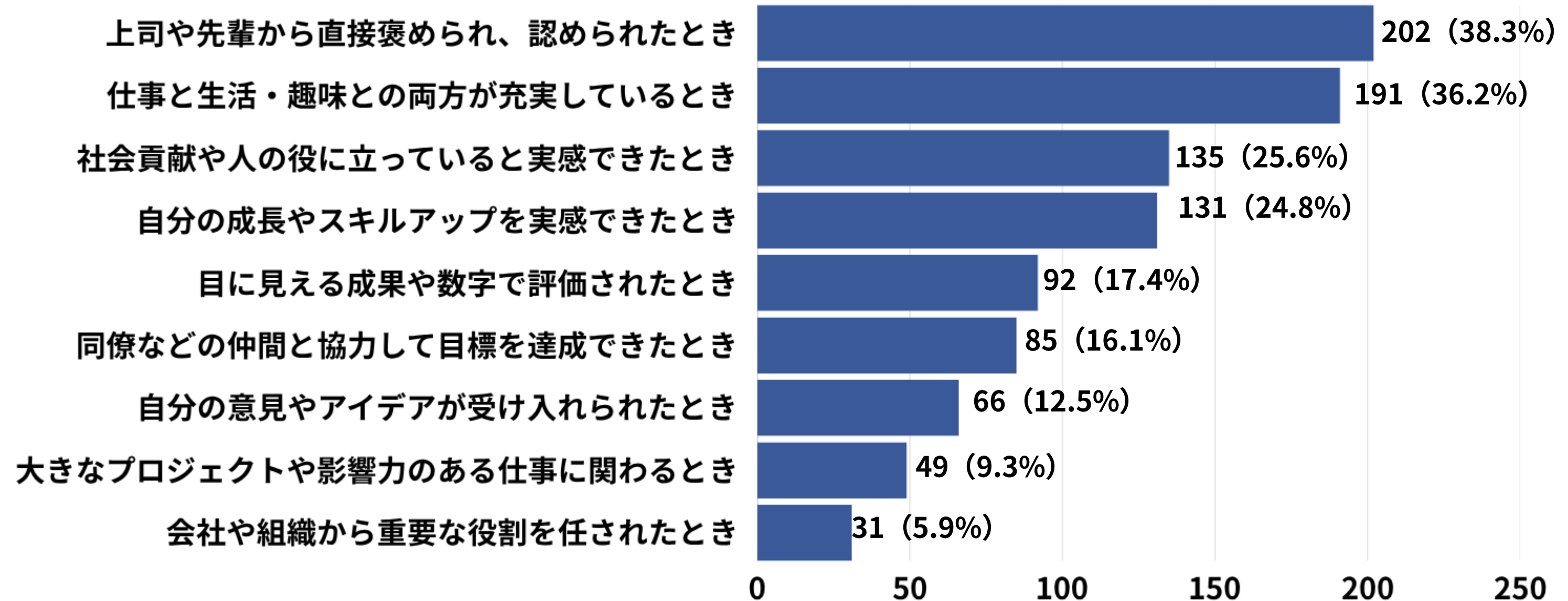
複数回答（最大2つ）



安定や公正さは求めつつ、出世欲や企業ブランド志向は薄い

仕事をするうえでモチベーションが高まるポイント

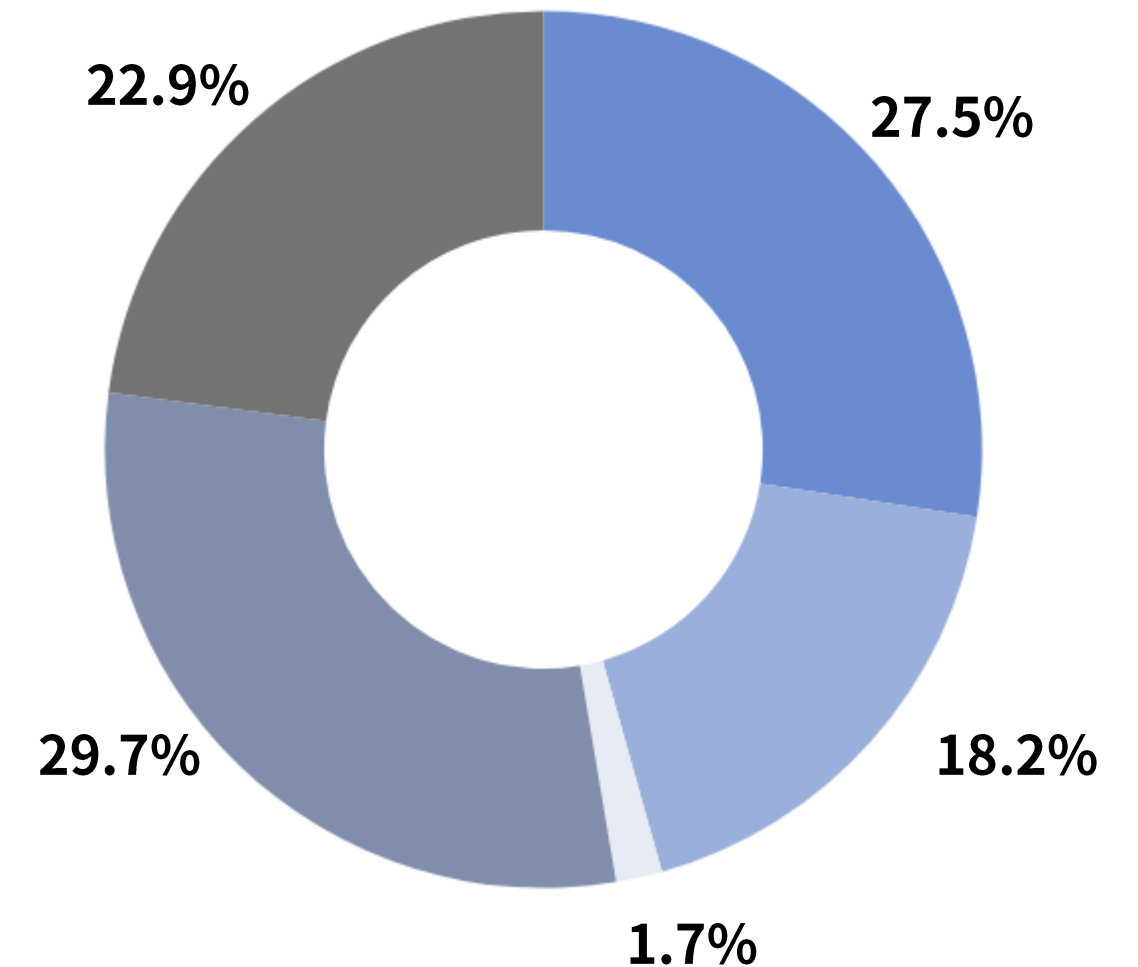
複数回答（最大2つ）



出世欲や自己顕示欲よりも身近な承認欲求の充実や
社会的意義をモチベーションとしている傾向

転職の捉え方

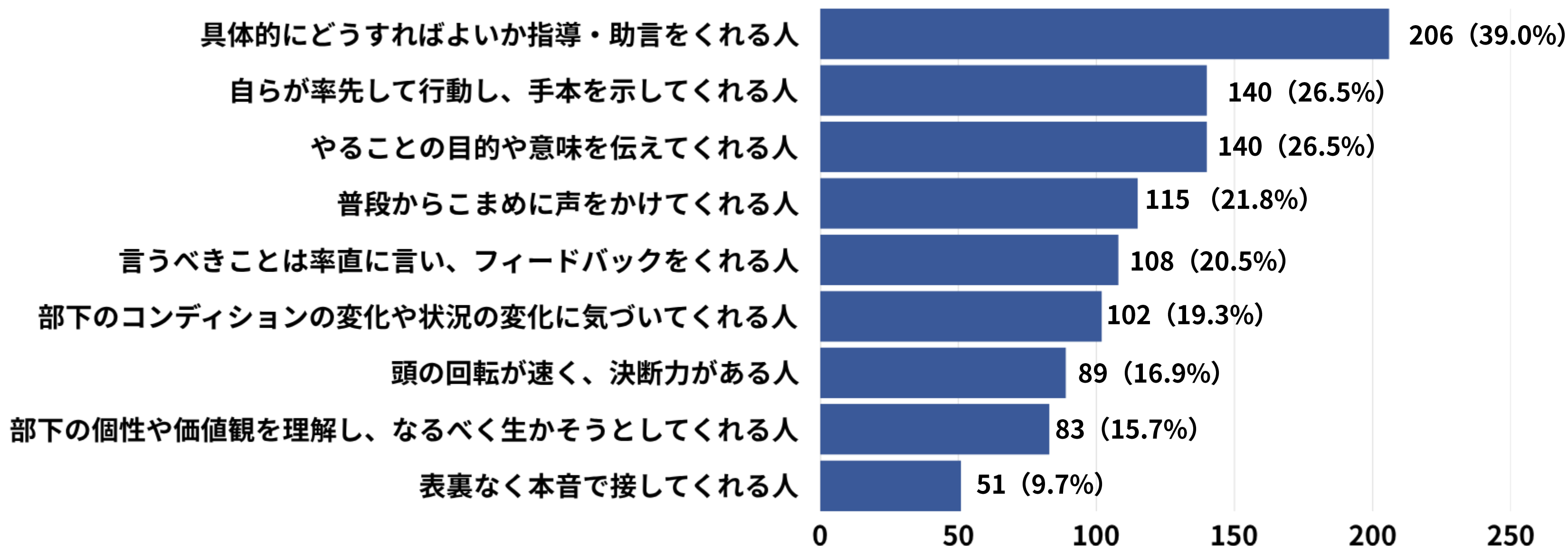
自分の市場価値を高めるためのポジティブな選択肢	27.5%
今の職場環境が改善されない場合のやむを得ない手段	18.2%
キャリアにおけるネガティブな出来事	1.7%
転職が良いか悪いか、一概には言えない	29.7%
転職するつもりがなく、考えたことがない	22.9%



転職をネガティブなものではなく、自らの価値観や成長を軸として捉えている

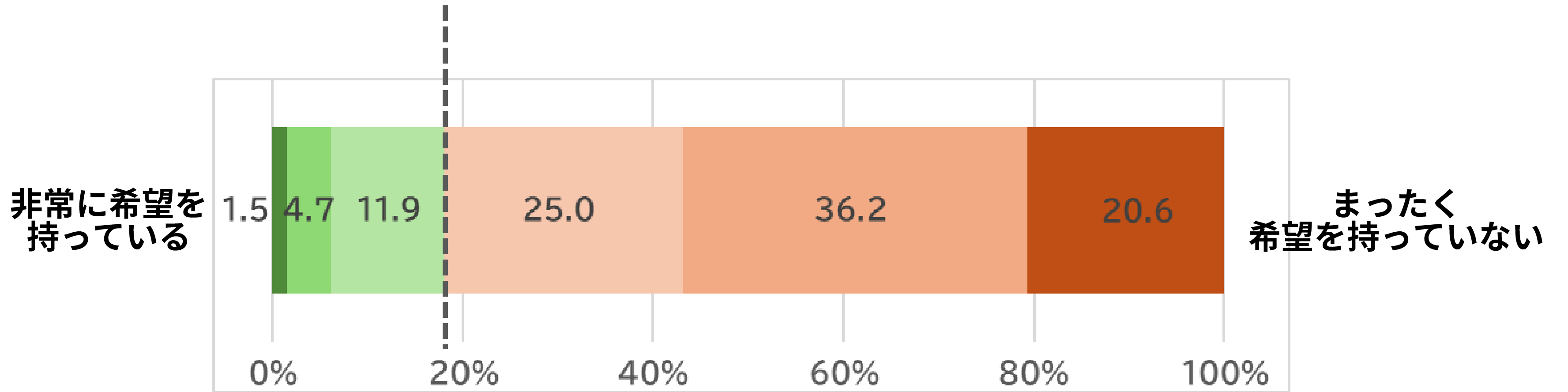
信頼できる上司像

複数回答（最大2つ）



業務上の指示や目的共有を求める傾向にあり、
放任よりもしっかりとコーチングしてくれる上司を信頼する

日本の未来や将来への希望



8割を超える人が、日本の将来に強い不安・懐疑を抱いている